

学報

2014 年 8 月 Vol. 684



「大学西橋」開通

(7 月 14 日)

「大学西橋」開通	1
チュラロンコン大学一行が学長を表敬訪問	2
「留学生と日本人学生のための能楽（能・狂言）ワークショップ」を開催	3
フランス人アーティストライブを開催	5
留学センターラウンジチューター企画「七夕まつり」を開催	6
理系女子高校生を対象に研究室見学会を実施	7
フランス人学生 13 名が工学部訪問	8
2014 サマースクール（受入）修了式及びフェアウェルパーティーを開催	10
安全保障貿易管理研修会を開催	11
第 1 回岐阜大学 COC 事業評価専門委員会を開催	12
工学部とマレーシア国民大学による第 1 回合同国際セミナーを開催	13
前川文部科学審議官が教育学部を視察	14
表彰受賞者	15
産学連携の実施状況	16
外国人研究者の受け入れ	18
平成 27 年度入試募集要項	19
メディア掲載一覧	24
諸会議	30
主要日誌	32
人事異動	《学内限定》 33

「大学西橋」 開通

本学は、東海・東南海・南海の連動型大地震等の大規模災害時に、学生及び教職員並びに近隣住民の方が大学の避難場所へ安全に避難するため、新たな橋『大学西橋』を設置した。橋の設置により、医学部・附属病院と本部キャンパスとの連携が密となり、地域住民等学外者の利便性も図られる。また、橋の名称は、学内の学生及び教職員に公募し、決定した。

7月14日（月）、勝野岐阜薬科大学学長、野々村黒野連合会会長及び学内関係者の参加のもと、岐阜大学「大学西橋」開通式典が行われた。

開通式典では、森脇学長が「新堀川を挟んで、医学部・病院と、本部キャンパスがあるが、大学西橋ができたことで、より一層連携が深まると考えられる。岐阜薬科大学や本学の各学部等の交通の利便性が高まり、研究拠点としてのコミュニケーションが向上することも期待される」と挨拶した。続いて、橋の名称が披露され、入選者に記念品が贈呈された。最後に、一尾施設環境部施設整備課長が大学西橋の概要を説明し、森脇学長、勝野岐阜薬科大学学長、野々村黒野連合会会長がテープカットを行った。



テープカット



橋の上で記念撮影

チュラロンコン大学一行が学長を表敬訪問

チュラロンコン大学理学部のトサック・シーラナン プログラム統括責任者ら 6 名が、7 月 2 日（水）に森脇学長を表敬訪問した。本学からは、鈴木文昭国際・広報担当理事，千家正照連合農学研究科長，小見山章応用生物科学部教授が同席した。

チュラロンコン大学理学部は，本学の応用生物科学部及び連合農学研究科と部局間協定を締結している。本学の連合農学研究科修了生がチュラロンコン大学の教員となっていることもあり，研究者交流が活発に行われている。

今回の訪問では，現在，部局間で締結している学術交流協定を，将来，大学間学術交流協定に広げること，またチュラロンコン大学附属病院と本学附属病院との協力の可能性などについて話し合われた。また，森脇学長から美濃和紙の照明，チュラロンコン大学のシーラナン プログラム統括責任者から盾が贈られ，終始和やかな雰囲気の中，懇談は終了した。



懇談の様子



森脇学長（前列左から 2 番目），
シーラナン プログラム統括責任者（同 3 番目）

「留学生と日本人学生のための能楽（能・狂言）ワークショップ」を開催

留学生センターは、平成26年7月2日（水）、柳戸会館集会ホールにおいて、能楽ワークショップを開催した。当日はサマースクール参加学生、留学生、日本人学生及び教職員等約80人の参加者があった。

今年度は、能楽の講師4人の先生方のご理解とご協力により、例年開催している能に加え、狂言も同時に体験する有意義なワークショップとなった。能は観世流シテ方 味方團（みかたまどか）、田茂井廣道（たもいひろみち）両先生を、狂言は大蔵流狂言方 山口耕道（やまぐちこうどう）、茂山良暢（しげやまよしのぶ）両先生を講師としてお招きし、指導を受けた。

先生方の挨拶と自己紹介に続き、味方、田茂井両先生による、能の代表的演目の一つである「石橋（しゃつきょう）」が披露され、謡曲の響きと華麗な舞に、会場全体は一気に能楽の世界に引き込まれた。

続いて、能楽の歴史や特徴について話があり、能と狂言に使用する「面」の違いを、先生方が持参された由緒ある実物の「面」を対比しながら学んだ。謡曲「高砂」、狂言の名乗り「末広がり」、能の泣き方、狂言の笑い方の実習では、参加者全員で割れんばかりの大声を出した。

参加者の多くは能楽を体験するのは初めてだったが、学生たちは興味深々で、先生方のユーモラスで巧みな話術に笑いの絶えない熱気のこもったワークショップとなった。

ワークショップの最後には、サマースクール参加学生の1人に能装束の着付けが行われた。間近に見るきらびやかな衣装や鮮やかな着付けの所作に、日本の伝統芸能の奥深さ、美しさを堪能できる有意義なひと時となった。

なお、このワークショップは、平成23年度から継続して「岐阜大学活性化経費（教育）基盤的能力の育成を目指す教育プログラム」として採択されている。



講師とともに全員で記念写真



能と狂言の違いについて説明



能面と狂言面の対比



謡曲「高砂」の練習



「末広がり」名乗りの謡



能装束の着付け

フランス人アーティストライブを開催

本学は、7月9日（水）、フランス東部で活躍する Joël et le duo Escalé（ジョエルとデュオ・エスカル）を本学に迎えて、異文化交流イベントを開催した。

はじめに地域科学部のゲラン准教授からバンドメンバーの紹介があり、ライブでは、『自転車乗り』『オー・シャンゼリゼ』等、シャンソンやジャズ20曲が演奏された。ラストには、スペシャルゲストとして工学部4年の藤吉亮輔さんがギターを持ってステージに登場。ジョエル氏が、2011年に福島県のチャリティイベントをフランスで行った際に日本語の歌詞を1週間で覚えたという、『上を向いて歩こう』をジョイント演奏された。同曲は、海外でも『スキヤキ』という題名で親しまれており、最後には、会場を巻き込んで大合唱となり、大拍手の中で終演となった。

当日は本学の学生や教職員のほか、学外からも岐阜大学を訪問中のフランスの大学生や小さなお子様連れなど多数参加し、合わせて130名近くが来場。ジョエルとデュオ・エスカルの素敵な演奏を堪能した。



ゲラン准教授による演奏メンバー紹介



演奏する Joël et le duo Escalé



皆で大合唱



工学部の藤吉さんと Joël et le duo Escalé

留学生センターラウンジチューター企画 「七夕まつり」を開催

留学生センターは、7月9日（水）、留学生センター交流ラウンジにおいて、ラウンジチューターの企画による「七夕まつり」を開催した。本企画は、留学生が日本文化を体験することと、留学生と日本人学生が交流を図ることを目的に定期的に開催しているものである。

当日は、留学生、日本人学生、サマースクールで本学に来ているスウェーデンや韓国の留学生等約40人が参加した。

チューターによる開会のあいさつの後、短冊に筆を使って日本語や韓国語、中国語などで留学生らしい願いを笹の葉に付けた。

また、今回は折り紙細工も行った。留学生は、日本人学生から鶴やかぶとの折り方を、日本人学生は留学生から難しいバラの花の折り方を教わる等、会場の雰囲気は大変盛況であった。最後は記念写真を撮り、イベントを終えた。

このイベントを契機に留学生と日本人学生との交流がますます活発になっていくことが期待される。

なお、同ラウンジは、留学生の学習支援（主に日本語・日本文化学習）や留学生と日本人学生との交流の場として活用し、本学国際交流の推進を図ることを目的に設置されたもので、平日午後にはラウンジチューターが待機し、訪れた留学生の学習支援にあたっている。



全員で記念写真



活躍したチューターメンバー



留学生と日本人学生との
和やかな交流風景



短冊に願いを込めて

理系女子高校生を対象に研究室見学会を実施

男女共同参画推進室は、7月16日（水）、岐阜県立長良高等学校2年生の理系女子生徒48名を対象に、研究室見学会を開催した。これは、男女共同参画推進室の取組である「サイエンス夢追い人育成プロジェクト（女子大学院生による出前講義）」の発展型として開催したものであり、出前講義に参加して研究に興味を持った理系女子高校生に対し、研究をより身近に感じてもらい、抱いた興味・関心を一層深めてもらうことを目的としている。

女子高校生は、教育学部理科教育講座（化学、生物学）、地域科学部地域政策学科地域環境講座、工学部機械工学科機械コース、化学・生命工学科生命化学コース、応用生物科学部応用生命科学課程食品生命科学コース、生産環境科学課程環境生態科学コースの7研究室を、グループに分かれて見学した。各研究室では、教員と女子大学院生によって研究内容の紹介が行われ、女子高校生にとっては大学での研究活動を学ぶとともに、理系分野で活躍する「先輩（女子大学院生）」と接することで自身の将来像を考える良い機会となった。

見学後に実施した女子大学院生と女子高校生との交流会では、高校生から、大学生活や将来のキャリア、受験勉強の方法などについて多くの質問が投げかけられ、大変盛況な会となった。



機械系実験棟で女子大学院生から説明を受ける高校生

フランス人学生13名が工学部訪問

フランス国立高等電信大学・テレコムパリテック(Télécom ParisTech)の学生13名が、7月23日(水)、工学部を訪問した。

日本とフランスの相互理解と友好関係を深め、二国間の文化交流に寄与することを目的に、岐阜日仏協会がフランスの学生の来日と岐阜の短期滞在の支援をしている。今回、学生交流として、昨年7月の訪問に引き続き工学部を訪れたものである。



工学部訪問にあたっては、学生の黒竹信之介さん(人間情報システム工学専攻)、岩瀬健太郎さん(人間情報システム工学科)、森川嵩弘さん(同)、日下部彩華さん(同)が準備と司会進行を担当した。

最初に、日下部彩華さんの英語による司会のもと歓迎会が行われ、出席者紹介、岐阜日仏協会からの挨拶後、六郷恵哲工学部長から挨拶ならびに工学部紹介(概要、国際交流、研究など)が行われた。



その後、機械工学科知能機械コース 川崎・毛利研究室を訪問した。ロボットに関する最先端のラボを訪問し、毛利哲也准教授、川崎・毛利研究室の学生による研究内容の説明や実験のデモンストレーションが行われた。ロボットに関する最先端の研究内容や実験装置

についてテレコムパリテックの学生から多くの質問があった。



次に交流会が行われた。岩瀬健太郎さんが英語による進行役を務め、テレコムパリテックの学生代表から挨拶の後、テレコムパリテックの学生と工学部生、工学研究科大学院生合わせて約40名が6つのテーブルに分かれてグループディスカッションが行われ、フランスと日本の印象、趣味など色々なことについて主に英語で意見交換を行った。また、テーブルに折り紙が用意されており、本学学生がテレコムパリテックの学生に折り方を教えた。

最後に、佐々木実教授（機械工学科知能機械コース長）の閉会の挨拶で、盛況の内に終了となった。

交流会は終始、和やかな雰囲気で行われ、双方の学生たちにとって大変有意義な経験となった。



2014サマースクール（受入）修了式及びフェアウエルパーティーを開催

留学生センターは、7月23日（水）、生協第2食堂においてサマースクールプログラム修了式及びフェアウエルパーティーを開催した。パーティーには、サマースクール参加学生（以下、サマスク生）21名のほか、郡上プログラムでお世話になった鷺見幸彦郡上国際友好協会の方々やホストファミリーの方々、森脇学長、鈴木理事（国際戦略本部長）、江馬理事、横山理事、林副学長、国際戦略本部員、サマースクールを支援してくれた学生チューター、留学生センター教職員等約80名の参加者があった。

今期は、8週間コースのルンド大学（スウェーデン）17名、4週間コースの木浦大学（韓国）4名、合わせて21名の参加学生全員が修了した。

パーティーでは、竹内豊英留学生センター長から開会の言葉とホストファミリーの紹介があり、続いて森脇学長から祝辞と挨拶があった。その後、鷺見幸彦郡上国際友好協会会長の挨拶と乾杯のご発声により開会した。参加者は各テーブルを囲み和やかに歓談し、一緒に写真を撮るなどした。

会の途中で、修了証書の授与式が行われ、受領者に対して会場から大きな拍手が送られた。その後、ルンド大学のパウラ・ヤルマルソンさん、木浦大学のイ・ヒョンボさんのスピーチがあり、こちらにも大きな拍手が送られた。

また、サマースクールチューターとして毎年活躍した、教育学部4年木内麻奈未さん、工学部4年本田洋平さんに感謝状と記念品が手渡された。最後に、浴衣を着たチューターから歌が贈られ、全員で記念撮影をして閉会となった。



森脇学長の挨拶



竹内センター長から修了証書の授与



木浦大学代表 イさんの挨拶



チューター全員による歌のプレゼント



ホストファミリーと共に



参加者全員で記念撮影

安全保障貿易管理研修会を開催

本学は、7月24日（木）、一般財団法人安全保障貿易情報センターの森本正崇氏を講師に招き、全教職員を対象とした安全保障貿易管理研修会を開催した。本研修会は、安全保障貿易管理規程の遵守と法令に基づく最新の規制情報の周知徹底を図ることを目的とし、平成22年から年1回実施されている。5回目となる今回は、47名の教職員が参加し、外国人留学生・研究者等を受け入れる場合の注意点や、法令に違反した場合の罰則について重点的に学んだ。

講演に先立ち、輸出管理統括責任者の福土理事（学術研究・情報担当）より、意図しない法令違反を起こさないために、共に学ぶ研修会の機会とする旨の開会挨拶があった。続いて輸出管理統括責任者補佐の馬場特任准教授より、大学に安全保障貿易管理が導入された経緯と、岐阜大学の管理体制等について説明があった。

森本講師の講演では、我が国における安全保障貿易管理制度の概要説明があり、続いて大学の教育・研究活動において、確認手続きが必要となる事例紹介があった。講演後には、研究者等から「海外の研究機関と共同研究に必要な機器の持ち出し」や「国際学会の発表における注意点」といった研究活動に関わる具体的な質問があり、講師との活発な質疑を通じて、参加者は安全保障貿易管理への理解を深めた。



森本氏による講演の様子

第1回 岐阜大学COC事業評価専門委員会を開催

本学は、7月25日（金）、「第1回 岐阜大学COC事業評価専門委員会」を開催した。

この委員会は、昨年度採択された同学のCOC事業「ぎふ清流の国、地×知の拠点創成：地域にとけこむ大学」が計画どおりに着実に進展しているか、また、その成果が本学の掲げた目標を達成しているかについて客観的に評価を実施するために設置されたものであり、今回は、吉田俊幸氏（元高崎経済大学長）、薫田大二郎氏（岐阜フットボールクラブ会長）、成原嘉彦氏（羽島市政策（兼）人材育成担当監）、一川哲志氏（岐阜新聞編集局副局長）、古田菜穂子氏（岐阜県観光交流推進局顧問）の学外委員5名と学内委員の1名が出席した。

委員会では、はじめに本学のCOC事業担当者である福士 秀人理事・副学長（地域協学センター長）から「COC事業の実施には、客観的な評価が重要であり各委員から忌憚のないご意見を賜りたい。」と挨拶があった。続いて吉田委員を委員長に選出し、評価の項目及び基準等を定め、平成25年度の実績について、活発な議論のもと評価を実施した。委員からは、「COC事業を推進する地域協学センターを部局化したことは大いに評価できるが、事業を永続的に着実に実施するためには体制の強化が必要」、「教育プログラムの目的・方向性を学生に理解させるとともに全学体制で取り組むこと」、「対象を明確にした情報の受発信を適切に行うこと」などの意見があった。本学は、今回の評価結果や意見を今後の活動に反映させ、COC事業を着実に推進していく。



委員長挨拶



委員会の様子

工学部とマレーシア国民大学による第1回合同国際セミナーを開催

本学工学部とマレーシア国民大学理工学部は、7月31日（木）、8月1日（金）の二日間にわたり、本学において、第一回合同国際セミナー（委員長：瀬瀬守教授[工学部副学部長] 副委員長：LIM Lee Wah 准教授[化学・生命工学科]）を行った。

2014年1月、本学工学部はマレーシア国民大学理工学部（University Kebangsaan Malaysia / National University of Malaysia, UKM）と学部間学術交流協定を結び、この協定に基づき、両大学の交流の一環として、初の合同セミナーを開催することとなったもので、今回、マレーシア国民大学より14名が本学を訪れた。

日本、マレーシアの大学教員及び研究者による研究発表を通じ、両大学の研究の発展を図るため、今回のセミナーのテーマは「科学と技術の育成；Nurturing Science and Technology」として、両大学間の学際研究の相互理解と両大学の教員・研究者・学生の友好を深めることを目的に行われた。

開会式では、森脇学長から両大学の研究・教育についてますますの発展を願うと挨拶があり、その後、発表が行われた。発表件数は33件（1日目16件、2日目17件）あり、社会基盤工学、電気電子工学、化学・生命工学、食品化学など幅広い分野から超分子材料、半導体、複合材料、ナノ結晶、イスラムの教えに基づくハラール食品など研究成果の発表があった。発表後は研究について活発な質疑応答が行われた。

二日目の本学工学部施設・研究室見学では、同学部が有する最先端の研究施設、実験装置について、マレーシア国民大学の教員から多くの質問があった。閉会式では、マレーシア国民大学を代表してRizafizah Othaman博士、本学を代表して六郷恵哲工学部長より挨拶があり、盛況のうちにセミナーは終了した。

マレーシアからの方々は、翌8月2日（土）には高山・白川郷エクスカージョン、その夜、岐阜新聞全国花火大会を見物された。

今後、こうした合同国際セミナーを開催することで、両大学の持続的な研究交流（共同研究、大型プロジェクトなど）への発展が期待される。



全員の記念写真

前川文部科学審議官が教育学部を視察

前川文部科学審議官は、8月1日（金）、本学教育学部を視察された。

前川文部科学審議官は、森脇学長及び理事との懇談の後、教育学部を訪れ、「中学校教育実習ガイダンスの参観」及び「教員養成の現状」についての説明を受けられた。

はじめに、池谷教育学部長から、「教育学部の教員養成の現状」について説明があった後、引き続き、今井一副学部長から、教育学部の教員養成プログラムである「A C T（アクト）プランの取組」について、教職大学院教授の平澤紀子専攻代表及び三尾寛次教授から、「本学の教職大学院の現状」について、最後に、附属小学校の松井徹副校長から、「附属学校のI C T環境及びその活用」について、それぞれ発表があり、活発な意見交換が行われた。



前川文部科学審議官（中央奥）

表彰受賞者

独立行政法人日本学術振興会 ひらめき☆ときめきサイエンス推進賞

受賞者：川上 紳一 教育学部教授

業績名：科研費による研究成果の社会還元・普及事業「ひらめき☆ときめきサイエンス」に
継続的に熱心に取り組み、将来を担う子どもたちの科学する心を育み知的好奇心の向
上に大きく貢献

受賞日：平成 26 年 7 月 1 日

日本パーカライジング株式会社 社長賞，日本パーカライジング技報 論文賞

受賞者：王 志剛 工学部教授

論文名：据込み一ボールしごき形摩擦試験法による冷間鍛造潤滑皮膜の特性評価

受賞日：平成 26 年 7 月 12 日

産学連携の実施状況

○共同研究

(平成26年7月契約分)

部 局 名	研 究 代 表 者	企 業 等 名
医 学 系 研 究 科	出 口 隆	和光純薬工業(株)
医 学 部 附 属 病 院	瀧 上 伊 織	旭化成ファーマ(株)/大阪大学
工 学 部	上 田 浩	(株)豊田中央研究所
〃	大 橋 慶 介	(株)コーセイ
〃	〃	(株)テイコク
〃	加 藤 邦 人	(株)イーエスピー企画
〃	河 瀬 順 洋	東洋電機製造(株)
〃	隈 部 和 弘	フルハシ EPO(株)
〃	小 林 孝 一	(株)コーセイ
〃	高 橋 周 平	(株)豊田中央研究所
〃	〃	(独)宇宙航空研究開発機構
〃	〃	アスモ(株)/(株)岐阜セラック製造所
〃	〃	東海サーモ(株)
〃	武 野 明 義	(株)デザインラボ
〃	古 屋 耕 平	トヨタ自動車(株)
〃	松 村 雄 一	(株)豊田中央研究所
〃	森 本 博 昭	富士コンクリート工業(株)
〃	山 下 実	名岐エンジニアリング(株)
〃	横 川 隆 志	(一財)ケケン試験認証センター
〃	横 田 康 成	日本光電工業(株)
〃	〃	環境機器(株)
〃	吉 田 豊 和	(株)三菱化学科学技術研究センター
応 用 生 物 科 学 部	長 岡 利	(株)秋田屋本店

○受託研究

(平成26年7月契約分)

部 局 名	研 究 代 表 者	企 業 等 名
医 学 系 研 究 科	吉 田 和 弘	公益財団法人がん集学的治療研究財団
附 属 病 院	小 関 道 夫	(独) 国立成育医療研究センター
工 学 部	能 島 暢 呂	国立大学法人京都大学
〃	山 下 実	公益財団法人岐阜県研究開発財団

工 学 部	佐 々 木 実	公益財団法人岐阜県研究開発財団
〃	國 枝 稔	一般財団法人名古屋高速道路協会
〃	山 縣 裕	公益財団法人中部科学技術センター
応 用 生 物 科 学 部	嶋 津 光 鑑	農林水産技術会議
〃	西 津 貴 久	旭化成ケミカルズ株式会社
〃	山 内 亮	(株) サラダコスモ
総合情報メディアセンター	篠 田 成 郎	岐阜県

外国人研究者の受け入れ

受入部局	氏名 (国名)	所属・職名	期間	研究題目
地域科学部	金 銀姫 (中国)	—	2014.7.1～ 2015.3.31	アジアの諸言語における格助詞の分布に関する研究

平成 27 年度岐阜大学大学院教育学研究科修士課程学生募集

Ⅰ 募集人員

専攻名	募集人員
心理発達支援専攻	11人
総合教科教育専攻	38人

Ⅱ 出願期間

専攻名	期 間
全専攻	平成26年9月8日（月）～ 平成26年9月12日（金）

Ⅲ 入試期日

専攻名	期 日
心理発達支援専攻 （臨床心理学）	平成26年10月4日（土）・平成26年10月5日（日）
心理発達支援専攻 （学校心理学・特別支援教育）	平成26年10月4日（土）
総合教科教育専攻	平成26年10月4日（土）

Ⅳ 合格者発表

専攻名	期 日
全専攻	平成26年10月20日（月） 10時

平成 2 7 年度岐阜大学大学院教育学研究科専門職学位課程（教職大学院）学生募集

I 募集人員

専攻名	募集人員
教職実践開発専攻	20人

II 出願期間

専攻名	期 間
教職実践開発専攻	平成26年9月8日（月）～ 平成26年9月12日（金）

III 入試期日

専攻名	期 日
教職実践開発専攻	平成26年10月4日（土）

IV 合格者発表

専攻名	期 日
教職実践開発専攻	平成26年10月20日（月） 10時

平成27年度岐阜大学大学院医学系研究科（医科学専攻）
博士課程学生募集（4月及び10月入学）

I 募集人員

専攻名	募集人員
医科学専攻	47人

II 出願期間

専攻名	期 間	
医科学専攻	第1次	平成26年9月3日（水）～平成26年9月12日（金）
	第2次	平成27年1月7日（水）～平成27年1月16日（金）
	第3次	平成27年2月16日（月）～平成27年2月20日（金）

※第3次募集は，募集定員を満した時は，実施しない場合がある。

III 入試期日

専攻名	期 日	
医科学専攻	第1次	平成26年9月26日（金）～平成26年9月30日（火）
	第2次	平成27年1月30日（金）～平成27年2月3日（火）
	第3次	平成27年2月26日（木）～平成27年2月27日（金）

IV 合格者発表

専攻名	期 日	
医科学専攻	第1次	平成26年10月22日（水）正午
	第2次	平成27年2月20日（金）正午
	第3次	平成27年3月20日（金）正午

平成27年度岐阜大学大学院医学系研究科（再生医科学専攻）
博士後期課程学生募集（4月及び10月入学）

I 募集人員

専攻名	募集人員
再生医科学専攻	6人

II 出願期間

専攻名	期 間	
再生医科学専攻	第1次	平成26年9月3日（水）～平成26年9月12日（金）
	第2次	平成27年1月7日（水）～平成27年1月16日（金）
	第3次	平成27年2月16日（月）～平成27年2月20日（金）

※第3次募集は，募集定員を満した時は，実施しない場合がある。

III 入試期日

専攻名	期 日	
再生医科学専攻	第1次	平成26年9月26日（金）
	第2次	平成27年1月30日（金）
	第3次	平成27年2月27日（金）

IV 合格者発表

専攻名	期 日	
再生医科学専攻	第1次	平成26年10月22日（水） 正午
	第2次	平成27年2月20日（金） 正午
	第3次	平成27年3月20日（金） 正午

平成27年度岐阜大学大学院医学系研究科(看護学専攻)修士課程学生募集

Ⅰ 募集人員

専攻名	募集人員
看護学専攻	8人

Ⅱ 出願期間

専攻名	期 間
看護学専攻	平成26年9月1日 (月) ～ 平成26年9月5日 (金)

Ⅲ 入試期日

専攻名	期 日
看護学専攻	平成26年9月12日 (金)

Ⅳ 合格者発表

専攻名	期 日
看護学専攻	平成26年10月15日 (水) 正午

メディア掲載一覧

○新聞

(平成26年7月分)

掲載日	新聞名	内容
7月1日	岐阜	アスベストの危険指摘 県世界青年友の会長 ベトナム学生に講演 ～森秀樹 岐阜大学前学長～
7月1日	岐阜	◎研究室から大学はいま：言語行動からの異文化理解 ～地域科学部地域文化学科地域文化講座 橋本永貢子 教授～
7月2日	岐阜	集団的自衛権と解釈改憲 憲法破壊し近隣を刺激 ～地域科学部近藤真 教授～
7月3日	朝日	争論：大学生は英語で学べ × 深い思考奪い、創造の芽摘む ～寺島隆吉 岐阜大学元教授～
7月3日	中日	集団的自衛権どう思う 岐阜大 学生意見真っ二つ 「外交カード」／「武力だめ」
7月3日	中日	留学生 古典芸能学ぶ 岐阜大 能や狂言の実演体験 ～岐阜大「サマースクール」～
7月3日	毎日	新庁舎建設 岐大医学部跡 答申へ 岐阜市検討委 会合で合意～市庁舎のあり方検討委員会・委員長 杉戸真太 岐阜大学副学長～
7月3日	中日	建設地は岐阜大跡地 市庁舎検討委 答申案を大筋了承 ～市庁舎のあり方検討委員会・委員長 杉戸真太 岐阜大学副学長～
7月3日	岐阜	岐阜市新庁舎 岐阜大医学部跡地に 事実上決定 検討委が答申へ ～市庁舎のあり方検討委員会・委員長 杉戸真太 岐阜大学副学長～
7月3日	岐阜	岐阜大生が独自アプリ 場所で曲変わる、人混み避ける案内 ヤフーの助言うける ～工学部情報コース～
7月3日	岐阜	十二単に興味津々 海外研究者ら 着付けショー楽しむ ～医学系研究科 藤田広志 学会大会長・教授／岐阜大学箏曲部～
7月3日	岐阜	◎素描：学長としての思い ～森脇久隆 岐阜大学長～
7月4日	朝日	名工大とメーカー開発 ロボに着想 歩行支援機 ～医学部附属病院リハビリテーション部～
7月6日	中日	賢い消費者として冷静にお金を使う ～教育学部 大藪千穂 教授～

7月6日	岐阜	拉致被害者の早期救出訴え 救う会岐阜
7月8日	中日	絵画や木工作品 岐阜大 OB 展示 ～岐阜大美術工芸科（現教育学部美術教育講座）卒業生～
7月8日	岐阜	耐震補強か新築 検討へ 各務原市 庁舎構想策定委が発足 ～各務原市本庁舎耐震化基本構想策定委員会 杉戸真太 委員長・岐阜大学副学長～
7月8日	岐阜	◎研究室から大学はいま：不思議な石ころを探して ～工学部電気電子・情報工学科電気電子コース 大和英弘 准教授～
7月9日	中日	岐阜空襲 気負わず伝える 「記録する会」 若者への見せ方工夫～地域科学部 人見佐知子 助教～
7月9日	岐阜	「炭素繊維」一大集積地へ 東海と北陸、産学官連携 岐阜大でリサイクル技術研究 ～岐阜大複合材料研究センター～
7月9日	中日	プロ、アマ競演 やながせ落語 13 日にフェス ～岐阜大落語研究会 鵜飼家みるくさん 他～
7月9日	中日	IT 企業の手法体験 ヤフーが岐阜大で特別講座 ～工学部 寺田和憲 准教授～
7月12日	岐阜	◎夕開帳：別腹ということ ～岩田弘敏 名誉教授～
7月12日	岐阜	岐阜大病院、大規模災害を想定 医学生 100 人、訓練奮闘 ～医学部附属病院～
7月13日	中日	中津川工高が全国へ 缶サット甲子園の岐阜大会
7月13日	中日	フランスの音楽グループが演奏 ～地域科学部 グラン・ジル 准教授～
7月14日	岐阜	発達障害児の親支援 県内の女性小児科医 研究会が初会合
7月14日	岐阜	古典落語、市民に笑い 岐阜大の有志企画 立川生志さん招く ～応用生物科学部 渡邊一弘 准教授～
7月14日	中日	落語、漫才5組 軽妙な掛け合い やながせフェス ～岐阜大落語研究会 鵜飼家みるくさん 他～
7月15日	中日	日本酒の歴史を酒造関係者紹介 岐阜大でシンポ ～応用生物科学部 中川智行 教授～
7月15日	岐阜	◎研究室から大学はいま：コミュニケーションを重視 ～地域科学部地域文化学科地域文化講座 フォン・フラクシュタイン・アレクサンドラ 准教授～

7月15日	中日	災害時 住民避難に有効 岐阜大「大学西橋」が開通
7月15日	岐阜	災害避難, スムーズに 岐阜大 学外へ新たな橋開通
7月16日	朝日	県がシンポ 現状や対策学ぶ ～地域科学部 向井貴彦 准教授～
7月16日	岐阜	固有種保全, 理解深める 県がシンポ 外来駆除活動呼び掛け ～地域科学部 向井貴彦 准教授～
7月16日	中日	外来生物の問題 解説するシンポ ～地域科学部 向井貴彦 准教授～
7月17日	岐阜	◎素描: 郊外の大学と都心の大学 ～森脇久隆 岐阜大学長～
7月17日	読売	外来生物対策 考えるシンポ 市民ら取り組み報告 ～地域科学部 向井貴彦 准教授～
7月18日	中日	◎鶉の目: 土遊び ～教育学部 辻泰秀 教授～
7月18日	中日	思いのままに土で絵を描く 藍川小児童に岐阜大生が授業 ～教育学部美術教育講座3年生～
7月18日	岐阜	「リケジョ」の進路紹介 岐南工高 岐阜大院生が講座 ～工学研究科・女子大学院生～
7月19日	岐阜	岐阜市の専門店 「情報発信で観光客増加」 ～イスラム圏からの留学生～
7月19日	岐阜	◎夕開帳: FC 岐阜の試合, 初観戦 ～岩田弘敏 名誉教授～
7月20日	毎日	メディアコスモス開館1年前見学会 あすまでイベント ～岐阜大医学部跡地, 岐阜大落語研究会出演～
7月20日	中日	「リケジョ」の世界 研究は楽しい 岐南工高で岐大院生語る ～工学研究科修士1年 松本千絵さんら3人～
7月20日	中日	岐大准教授と学生 子ども体動かし楽しさ学ぶ 北方小で算数の授業 ～教育学研究科 吉村嘉文 准教授～
7月21日	岐阜	体質改善でがん予防 岐阜大・森名誉教授が講演 ～森 秀樹 岐阜大学前学長・名誉教授～
7月22日	中日	人口肛門患者らに快適な使い方語る 岐阜で研修会 ～医学部 作間久美 非常勤講師～
7月22日	日本経済	岐阜大も iPS 備蓄 親知らずから作製 再生医療に活用 ～医学系研究科 手塚建一 准教授～

7月22日	岐阜	◎研究室から大学はいま：病理医が顔の見える存在に ～医学部附属病院病理部 宮崎龍彦 臨床教授～
7月23日	中日	岐阜大が入試要項
7月23日	岐阜	東京五輪への期待 日本の団結力発信 ～元岐阜大学教授 古田善伯 中部学院大学長～
7月23日	岐阜	岐阜大生が「国語教室」 夏休み、小中学生に企画講座 方言の魅力など伝える ～教育学部国語教育講座3年生, 山田敏弘シニア教授～
7月24日	読売	増築部分の利用開始 岐阜大図書館 書庫 19万冊分増
7月24日	岐阜	◎素描：「グローバル化」の意味するところ ～森脇久隆 岐阜大学長～
7月24日	中日	ことばは面白い 岐阜大生が講座 県図書館で小中生に ～教育学部国語教育講座3年生, 山田敏弘シニア教授～
7月24日	中日	ロボット研究現場見学 フランスの学生, 岐阜大を訪問 ～工学部毛利哲也 准教授～
7月24日	中日	学部越え 朝活の輪 岐阜大生ら毎週 料理持ち寄り, 恋の話も～地域科学部3年 丸山純平さん, 岐阜大地域協学センター 高木朗義 教授～
7月24日	岐阜	北島院長, 3度目の認定 日本版「ベストドクターズ」 水疱症の治療研究で実績 ～元医学部附属病院長 北島康雄 木沢記念病院院長～
7月26日	岐阜	◎夕開帳：音彩セラピーとは ～岩田弘敏 名誉教授～
7月28日	中日	◎さーくるつながる：岐阜を歌声で熱く ～アカペラサークル「Gift Box」～
7月28日	岐阜	「2014年度 岐阜大学公開講座」算数好きになって 子ども向け 岐阜大が数列講座 ～教育学部数学教育講座～
7月28日	岐阜	◎教えてホームドクター：不眠症って、なに？ 熟睡ができない状態 1カ月以上続き生活に支障 ～医学部付属病院（精神科医）塩入俊樹 教授～
7月28日	中日	パスキンの作風学ぶ 県美術館 子どもたち油絵挑戦 ～教育学部附属小学校2年 香田倫果さん～
7月28日	中日	就職率 福井大1位
7月29日	岐阜	◎研究室から大学はいま：がん治療と生殖医療が協力 ～医学系研究科産科婦人科学分野 古井辰郎 准教授～

7月30日	中日	岐阜の産業遺産を展示 県図書館 明治 - 昭和初期の 26 点 ～地域科学部 稲生勝 教授～
7月31日	岐阜	◎素描：岐阜大学の水はなぜおいしいのか ～森脇久隆 岐阜大学長～
7月31日	読売	ドクターヘリ 富山と共同運航 知事会談「議論進めたい」 ～医学部附属病院～
7月31日	中日	ドクターヘリ 富山県と共同運航検討 県，飛騨地域カバー向け～医学部附属病院～
7月31日	中日	新庁舎 20 階超を想定 岐阜大跡地に建設答申 ～市庁舎のあり方検討委員会 杉戸真太 委員長・岐阜大学副学長～
7月31日	読売	岐阜大医学部跡地を答申 岐阜市新庁舎建設で検討委 ～市庁舎のあり方検討委員会 杉戸真太 委員長・岐阜大学副学長～
7月31日	岐阜	岐阜市新庁舎「岐阜大医学部跡地に」 市長諮問機関が答申 ～市庁舎のあり方検討委員会 杉戸真太 委員長・岐阜大学副学長～

○テレビ・ラジオ

(平成26年7月分)

放送日	番組名	内容
7月3日	名古屋テレビ 6:45～8:00 「ドデスカ！」第2部	最近多発しているツキノワグマの目撃・人身事故のニュースについて／ツキノワグマが多く出没する要因や、山で出会わないための対策など応用生物科学部 浅野 玄 准教授
7月12日	名古屋テレビ	「缶サット」で全国大会へ 高校生が技術力競う
7月12日	NHK 名古屋	空き缶で人工衛星アイデア競う審査委員長 安里勝雄 工学部教授
7月12日	NHK 岐阜	高校生が模擬人工衛星で競う審査委員長 安里勝雄 工学部教授
7月14日	FM わっち 12:40～12:55 「アフタヌーンアワー」	・岐阜大学ロボコンサークルについて ・NHK 大学ロボコンの本選に出場して岐阜大学ロボコンサークル
7月21日	NHK 名古屋	子どもたちが漢字のおもしろさ学ぶ 岐阜大学教育学部2, 3年生と山田敏弘シニア教授
7月22日	NHK 総合テレビ 8:15～9:54 「あさいち」	「スゴ技 Q 世界のワザの学ぶ！オクラパワー徹底活用術」応用生物科学部 矢部富雄 准教授（専門家ゲストとして）
7月31日	NHK 名古屋	岐大とマレーシアが学術交流岐阜大学工学部

諸会議

◇第449回役員会

7月3日（木）

議 題

1. 教育職員の人事（医学部：准教授1名，応用生物科学部：教授1名，助教1名）について
2. 特任教員雇用事前協議について

◇第5回授業編成専門委員会

7月7日（月）

議 題

1. 平成26年度非常勤講師採用計画の一部変更について
2. 大学以外の教育施設等における学修の単位認定について
3. 平成26年度前学期定期試験の実施について

◇第450回役員会

7月10日（木）

議 題

1. 教育職員の人事（医学系研究科：准教授1名，医学部附属病院：准教授1名）について
2. 特任教員雇用申請について
3. ポイント外教育職員の配置について

◇第4回部局長・部長会

7月10日（木）

議 題

1. 電子ジャーナルの削減について
2. 平成25年度監事意見書について

◇第4回教学委員会

7月15日（火）

議 題

1. 全学共通教育科目の科目編成について
2. 新学務情報システムにおけるシラバスの内容について
3. 平成27年度学年暦（案）について
4. 平成27年度入学料免除における東日本大震災で罹災した入学者の取扱いについて

◇第451回役員会

7月17日（木）

議 題

1. 平成26年度執行計画について
2. 特任教員雇用申請について

◇第65回経営協議会（メール開催）

7月17日（木）

議 題

1. 運営組織規則の一部改正について

◇第127回教育研究評議会

7月17日（木）

議 題

1. 運営組織規則の一部改正について

◇第4回入学試験専門委員会

7月23日（水）

議 題

1. 地域科学部再入学試験の実施（案）について
2. 地域科学部一般入試等入学者選抜基準の一部改正（案）について
3. 医学部医学科入学者選抜基準の一部改正（案）について
4. 応用生物科学部一般入試等入学者選抜基準の一部改正（案）について

◇第452回役員会

7月31日（木）

議 題

1. 平成27年度医学部入学定員増員計画について
2. 業務達成基準適用事業の実施計画変更について
3. 教育職員の人事（工学部：教授1名，准教授1名）について
4. 特任教員雇用事前協議について
5. 特任教員雇用申請について
6. 運営組織規則の一部改正について
7. 選択定年制に係る定年年齢の変更について

主要日誌

月 日	行 事 名
7 / 1	岐阜大学図書館リニューアルオープン記念式典 岐阜県高等学校長代表者との懇談会
2	留学生と日本人学生のための能楽（能・狂言）ワークショップ
3	第449回役員会
5	医学系研究科再生医科学専攻(博士前期課程・推薦)入学試験 工学研究科博士前期課程(推薦)入学試験 工学研究科博士後期課程(秋季)入学試験
7	第5回授業編成専門委員会
9	看護学科・看護学専攻教授会議(医) 教授会・代議委員会(工) 教授会(メディア)
10	第450回役員会 第4回部局長・部長会
11	代議員会(連農)
14	「大学西橋」開通式典
15	第4回大学教育委員会 研究科委員会(連創)
16	教授会・研究科委員会(教・地・応) 医学研究科・医学科教授会議(医)
17	第451回役員会 第65回経営協議会(メール開催) 第127回教育研究評議会
18	代議委員会(連獣)
23	第4回入学試験専門委員会 教授会(流域・生命) サマースクールプログラム修了式及びフェアウエルパーティー
25	第1回岐阜大学COC事業評価専門委員会
31	第452回役員会 応用生物科学研究科修士課程入学試験(～8/1日まで)